

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 グラフィックデザイン専攻											
総合実習 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	川口 貴弘／経 真珠美			実務経験	有	職種	アートディレクター／イラストレーター				
授業概要											
※この授業では2種類の異なる目的の実習を60時間づつ設定 (AとB) し授業を実施します。 A タイポグラフィ、ピクトグラム等の制作を通じ、情報をグラフィカルに表現する技術を学ぶ。PCを用いたグラフィックデザイン全般のデータの基礎を学ぶと共に、データ制作のノウハウ、目的と用途に応じて求められている情報を整理した上で、教員と学生間でのコミュニケーションをとりながら作業を行なっていきます。 B イラストレーション制作実習を通じて、自身が目指す表現に合う画材、道具の選択が出来るよう、様々な画材、道具を体験する。モチーフとなる対象物の特徴を捉え、描き起すテクニックと表現方法を学ぶ。イラストレーターとして必要な制作テクニックと、デザイナーとしても必要なイラストレーションの制作知識を学ぶことを目的と している。											
到達目標											
A デザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。 ・Adobe Illustrator・Photoshop に慣れ親しみ、デザイン作業に必要な初歩的なアプリケーションの操作方法を理解できる。 ・グラフィックデザインの基礎的な印刷知識・画像編集の知識・技術の理解を深めることができる。 ・課題内容を理解し、自分で発案・提案を行い、制作した「課題」を「言葉」で伝えられるようになることができる。 B それぞれの画材、道具の特性を理解し、表現に最適な選択ができる。自身のイラストレーション表現に合った画材、道具の選択ができる。描画表現、イラストレーションテクニックの習得。											
授業方法											
A グラフィックデザイン主体の解説になるが、一般的な情報→最先端の実務での実情を踏まえたワークフローを解説し、実生活や社会での応用方法を伝える。また、課題ごとに取り組みたい「新しい観点」なども学生と教師と話し合いを行い、課題に活かせる対話をし実践して、デザインの、ものづくりの奥深さや楽しさを感じ取れるようになる。 B モチーフとなる対象物の描画制作で、使用する画材の特性（効果）と注意点を説明の後に制作作業を開始。授業内で制作状況を確認しながら、必要に応じて個々にテクニックの指導をする。仕上がった作品は採点後返却時に修正点、注意点等を伝え技術向上へのアドバイスをする。画材、道具は数回ごとに変わるが、作業工程はモチーフを描くことのくり返しの学習になり、対象物を捉える視点や描画テクニックは回を重ねるごとに向上する。自分の道具（筆、定規等）は、自分の手に馴染むように使うよう指導。											
成績評価方法											
A プレゼン：30％ 総合的に評価 課題完成度：40％ 総合的に評価 平常点：30％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価 B 課題完成度:80％ 提出課題の完成度を評価する 平常点：20％ 積極的な授業参加度、授業態度、忘れ物によって評価する											
履修上の注意											
A 学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。 B イラストレーション制作に必要な教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。忘れ物厳禁。											
教科書教材											
A 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。 B 参考作品・参考資料等は、授業内で配付、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	A ピクトグラムと情報の編集① 情報の視覚化について 解説B授業概要説明 イラストレーションの役割の解説										
第2回	A ピクトグラムと情報の編集② 解説とアイディア検討B水彩色鉛筆 パターン平面構成										
第3回	A ピクトグラムと情報の編集③ デザイン制作B水彩色鉛筆 描画技法										
第4回	A ピクトグラムと情報の編集④ 講評B水彩色鉛筆 描画技法										
第5回	A ピクトグラムと情報の編集⑤ 解説とアイディア検討B水彩絵具と水彩色鉛筆の併用 描画技法										
第6回	A ピクトグラムと情報の編集⑥ デザイン制作B水彩絵具と水彩色鉛筆の併用 描画技法										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 グラフィックデザイン専攻	
総合実習 2	
第7回	A ピクトグラムと情報の編集⑦ 講評B水彩絵具と水彩色鉛筆の併用 描画技法
第8回	A タイポグラフィの展開① パッケージデザインアイディア検討Bアクリル絵具 描画技法
第9回	A タイポグラフィの展開② パッケージデザイン制作Bアクリル絵具 描画技法
第10回	A タイポグラフィの展開③ パッケージデザイン制作Bアクリル絵具 描画技法
第11回	A タイポグラフィの展開④ その他のツールへの展開Bコラージュ制作
第12回	A タイポグラフィの展開⑤ その他のツールへの展開Bコラージュを描き起す
第13回	A タイポグラフィの展開⑥ 講評B創作イラストレーション
第14回	A タイポグラフィの展開⑦ 解説B創作イラストレーション
第15回	A まとめ グラフィックデザインとコミュニケーションについてBプレゼンテーション 講評